

てんかん重積における DWI 高信号域の解剖学的分布と臨床的特徴との関連についての研究

1. 研究の対象

2016 年 1 月～2025 年 3 月に当院に、てんかん重積、てんかん、けいれん重積発作などのてんかん発作の病名で入院された方

2. 研究目的・方法

神経救急においててんかん重積の早期診断は患者の生命機能予後を左右する重要な因子です。てんかん発作の診断において脳波検査は重要ですが、救急で脳波を実施できない施設が多く、また脳波の判読が難しいことが問題となっています。MRI 検査、なかでも拡散強調画像 (DWI) は、急性期脳梗塞だけでなく、てんかん重積の診断にも利用できることがいわれています。しかし、てんかん重積時の DWI でしばしば認められる信号異常所見について、その臨床的特徴や解剖学的分布について詳しく検討した報告はありません。本研究では、てんかん重積の早期診断に役立つ DWI 信号異常分布の特徴とその臨床的意義について検討します。

3. 研究に用いる情報の種類

病歴、治療歴、高次脳機能検査所見、カルテ番号、MRI 画像、脳波、血液検査結果等

4. 外部への試料・情報の提供

ありません。

5. 研究組織

国立病院機構南和歌山医療センター脳神経外科
西林宏起（研究責任者）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

国立病院機構南和歌山医療センター

和歌山県田辺市たきない町 27 番 1 号

TEL: 0739-26-7050

副院長(脳神経外科) 西林宏起